



# マウントクック

9月号⑥

平成 24 年 9 月 8 日

カンタベリー日本語補習校  
校長 長野 晴展

9月に入り暖かくなり、桜や水仙が咲き、春の訪れを感じます。しかし、9月4日の夕方19時前に突然 雷鳴・稲光がし、その後 直径1~2cm ひょう 大の雹がたたきつけるように降り、一部は朝まで溶けずに残っていました。ひょう 雹の大きさと激しさ、なかなか溶けないのに驚かされました。

8月25日 ①校時4-2の全校授業研究会では保護者のヘルプの方のご支援をいただき、無事開催することができました。ご協力ありがとうございました。当日の協議会では活発な意見交換が行われ、一人ひとりの国語力を伸ばす授業改善に役立つことと思います。

本日、中間（前期1・2学期分）テストが実施され、子ども達は真剣な眼差しで取り組んでいました。また、読書感想文展が締め切られ、多数力作が応募されました。優秀作品は終業式で表彰します。

再来週は二学期終業式です。翌23日（日）は運動会（日本人会）です。奮ってご参加ください。そして春休み（2週間）が始まります。春休みの学習についてはマウントクック6月号をご参照ください。二学期の学習の定着を図りましょう。

## 通知票「あゆみ」は子どものよさを認め・励ますきっかけです。

改正された学校教育法（第30条2項）には、小学校教育で特に意を用いて指導しなければならないこととして、学力の重要な3つの要素が新たに示されました。それは、①基礎的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③学習意欲（主体的に学習に取り組む態度）です。

通知票「あゆみ」の学習のようすの欄には、これら①②③の学力の視点から見たお子様の状況を記載しています。「よかった、悪かった」とだけ、見るのではなく、どの教科のどんな領域で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのかなど、子どもの努力の様子をご確認ください。学習のようすの欄は各学年・各教科の学習内容・学習目標に照らしあわせた理解度・到達度評価（絶対評価）であり、[中間・学年末テスト]と[日常・単元テスト、授業中の発表等]を総合して、各学年・各教科の学習内容・学習目標にどのくらい達しているかどうかを4段階で示しています。人数がある程度決まっていた相対評価と異なり、がんばった結果がそのまま反映されます。所見欄については特記すべき事項を、保護者向けに記述しています。また、生活のようすでは、補習校の学習の約束やきまりを守れているか、家庭学習への取り組みなどの面から評価しています。生活のようすの状況は学習面の意欲や成果につながる大切な要素です。

<理解度・到達度基準> 概ね下記の通りとします。

- 「4＝よくできる」： 85以上の理解度・到達度
- 「3＝できる」： 70～84の理解度・到達度
- 「2＝もう少し」： 50～69の理解度・到達度
- 「1＝がんばろう」： 49以下の理解度・到達度

※理解度・到達度とは、各学年・各教科の学習内容の理解度、学習目標の到達度を言います。

たくさんほめられた子どもは、人のよさにも気づき、人を認める子どもに育っていくものではないでしょうか？ 通知票「あゆみ」をきっかけとして、補習校生活について、子どもと会話を交わし、学習・生活面のよさを認め・励ます機会にさせていただけたらと考えます。



8/18 あいさつ運動（小6）



8/18 行儀よく座っていただいています。（中休み）



8/25 あいさつ運動（小5）



8/25 研究授業（小4-2）